

(新) 企業による自然環境保全活動促進事業費

10百万円(0百万円)

自然環境局総務課

1. 事業の概要

企業による社会貢献活動として環境分野の取り組みが盛んになっているが、いずれも地球温暖化防止やリサイクル推進などに関心が集まっており、自然環境や生物多様性の保全に関しては未だ注目度、理解度が低く発展途上にある。一方、国内の民間団体等の間では、自然体験活動の機会の提供や、国立公園などの管理においても、企業の所有地や資金を活用した積極的な展開が大いに期待されている状況がある。

このため、企業が所有地や資金を活用して自然環境保全を目的とした社会貢献活動を適確に展開できるとともに、その力を借りたいNPO等との間の協働の促進を図るため、以下の事業を行うもの。

企業とNPO等のマッチングモデルを選定、自然環境分野における社会貢献活動のトッパーランナーとして技術的、広報的な支援を実施

WEB上のプラットフォームにより各企業の取り組みを利用しやすい形で提供するなど、自然環境分野における社会貢献活動の促進策を検討、試行

2. 事業計画

平成21年度 意向調査の実施、事例発表セミナー等の開催

マッチングモデルの選定、支援の実施(～23年度)

平成22年度 WEB上での情報提供、プラットフォームの試行(～23年度)、活動報告セミナー等の開催

自然環境保全のための社会貢献活動CSR促進策(税制等)の検討

平成23年度 活動成果の評価手法の検討、とりまとめ

3. 施策の効果

- ・自然環境保全に資する社会貢献活動が普及し各地域で適切に推進される。
- ・企業と、資金やフィールドを求めるNPO等との協働が促進される。

4. 備考

事業費

企業による自然環境保全活動促進事業

10百万円

# 企業による自然環境保全活動促進事業

近年、企業による社会貢献活動への  
関心が高じている

CSR: Corporate Social Responsibility  
企業の社会的責任

生物多様性条約第8回締約国会議  
(CBD-COP8)で「民間部門に条約への  
参画を促す決議」が採択

生物多様性への観点からは方向性が  
異なると思われるような例も散見

2010年名古屋にてCBD-COP10開催が決定  
**日本企業の積極的な貢献が期待**

- (1) 自然環境分野における社会貢献活動事例の収集、整理
- (2) 企業とNPO等のマッチングモデル選定、支援
- (3) WEB上プラットフォームによる情報提供



## 【目標】

自然環境保全分野での社会貢献活動の普及・促進  
企業とNPO等の協働の促進